

## 看護職員募集説明会でいただいた、よくあるご質問および回答をまとめました。

	参加者からの質問	回答
1	静岡がんセンターで働いていて良かったと思うことはなんですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種医療チームで患者さんを支えていることを実感できることです。</li> <li>また、ベッドのシーツ交換など、一般では看護師が行う業務も、看護助手さんが行ってくれる等、多職種スタッフが十分に配備されているため、看護師は看護業務に専念できています。</li> <li>・少し高台にある静岡がんセンターからは、駿河湾や富士山といった雄大な自然を望むことができます。また、いつもきれいでリゾートホテルのような院内、ハートの池やバラ庭園を始めとした自然豊かで広大な敷地は、患者さんだけでなく、わたしたちスタッフの心も癒してくれます。これは、都会の医療機関にはない静岡がんセンターだからこそ最高の環境だと思います。</li> </ul>
2	がん看護に興味があり、教育体制もしっかりされた貴院で是非学びたいと考えていますが、総合病院での経験を積んでからの方が良いのか悩んでいます。	患者さんの思いに寄り添う気持ちがあれば大丈夫だと思います。また、新人に対しては、入職当初の研修で、基礎的な看護技術や知識をくまなく学ぶことができます。がん看護はもちろんですが、そういった看護師として誰しもの必要とするものも丁寧に教えていただきましたし、病棟配属後も先輩方がやさしくフォローしてくださるので、何も心配は要らないと思います。
3	がん看護の特徴などあったら教えて欲しいです。	苦痛をとること、患者以外に家族のケアも求められること、まだ治らない病気であるため病気以外に精神面、社会面でのケアが求められることなどです。
4	看護教育体制のことについて詳しく知りたいです。	経年別教育で4年目までは必須です。5年目以上は領域別専門コースで選択になります。新人看護師は新人看護職員ガイドラインに準じて必要な全ての項目が習得できるような研修体制になっています。
5	地元を離れるかどうか悩んでいます。県外から就職されている方がどのくらいいらっしゃるのか教えてください。	全看護職員の半数が静岡県外出身者です。当院は北は北海道、南は沖縄から入職いただいております。地元を離れて頑張っている者がたくさんいるため心配いただくことはないかと思います（同郷の職員同士で交流を深める会も多数開催されています）。有給休暇をうまく使い、連休を利用して実家に帰省する職員も少なくありません。
6	入職される方のうち、自宅生と寮生がそれぞれどのくらいみえるのか教えてください。	例年、約半数が職員住宅、3～4割が実家等、1～2割が民間賃貸住宅入居です。
7	有給休暇の消化状況を教えてください。	年次有給休暇は年間平均9日～10日、夏休み(5日)は、平均4.9日の消化状況です。
8	公務員試験の受験はありますか。	公務員試験は実施いたしません。当院採用試験合格内定後の入職をもって公務員としての身分を有します。
9	部署(科)への配属はどのように決まりますか。	採用前に希望をとります。第3希望までだしていただきますが新卒の方は希望部署以外の配属はなく、基礎看護技術が習得できる一般病棟に配属します。
10	就職するにあたり、希望の科へ配属される割合。配属希望は入職直前・入職後など、どの段階で決めるのですか。	希望科への配属は90から100%。入職時（辞令交付時）に本人に知らせます。
11	新卒で働かれている方はどのくらいいるのですか。	今年度は41名採用しました。毎年35～45名の範囲です。
12	新人として入って安心して、また楽しく仕事を始めることができましたか。	教育研修も充実しておりプリセプターもつくので不安はないです。
13	休日の過ごし方について教えてください。	静岡県は温暖な気候に恵まれ、当院近隣は富士山や箱根、駿河湾など自然を舞台としたレジャースポットが豊富です。また、箱根や伊豆には温泉が湧き出ているため、休日は温泉に浸かって疲れを癒す職員も少なくありません。御殿場には国内最大級のアウトレットモールもあるほか、横浜や都内までのアクセスも良いため、気軽にショッピングを楽しむことも可能です。
14	入職後がん看護以外の知識や技術の学習の機会はありますか。	がん以外では合併症の管理、救命救急、その他学習の機会は豊富です。
15	リンパ浮腫に対する治療、特にリンパドレナージをされていますか。またそれは外来でもされていますか。	リンパ浮腫に対する治療はリハビリテーション治療の一環として、リハスタッフが実施しています。外来では開いていません。